

(一社) 北海道建築士会
まちづくり活動事例集

歴史的建造物を活かし地域の魅力を生かす 伝統的建築技術継承人材育成事業

主催団体
NPO法人はこだて街なか
プロジェクト

函館支部
歴史まちづくり

取組の目的・背景

函館市の西部地区において、歴史的建造物の維持・保全に携わる職人不足により伝統的建築技術や保全修理技術の継承が困難となっていることから、技術を継承する人材の育成を図るものである。NPO法人の建築士会会員は事業活動のスタッフとして事業に参加し事業を支えている。

取組の内容

1カ年目は、伝統的建築技術に携わる職人の内、2技能職人を選定し、西部地区にある修繕が必要な歴史的建造物を講師とともに調査し、修繕計画を策定する研修を行うことにより、伝統的建築技術の知識及び技術の向上を図る。2カ年目は、前年度の修繕計画を基に実作業を伴う実習を実施し、伝統的建築技術の習熟を図るほか、異なる2技能職種に対して、調査・修繕計画を策定する。3カ年目、2カ年目に修繕計画を策定した2技能職種に対して、実作業を伴う実習を実施する。4年目以降、職人研修の場を職種5団体と自治体が協力して作りたい。

取組の成果

まだ、1カ年目で成果については実感できていませんが、伝統的建築技術継承の人材を育成することにより、職人は伝統的建築技術に関する知識及び技術力が向上し、歴史的建造物の適切な維持・修繕・保全を行うことができ、そのことにより函館市の西部地区の街並みの魅力が向上し、更には観光客をはじめ交流人口の増加に繋がるものと考えます。又、本事業の実施により歴史的建造物が活かされ、地域の魅力を生かすことに繋がり、職人のみならず市民が西部地区の街並みに誇りを持つことができると考えます。

取組の課題と期待

伝統的建築技術は、一朝一夕で身につくものではなく、継続して技術の研鑽に励む必要がある。今後は実際の歴史的建造物での実作業を行う機会を確保し、歴史的建造物の扱い方や保全の考え方、修理の方法を学び、建物の歴史と向き合いながら伝統的建築技術の習熟と継承する意義を深めることにより、歴史的建造物が活かされ、地域の魅力を生かすことに繋がるものと考えます。

建築士としての関わり

計画策定時には、建築士として関わり、講義に使用する建物の調査をし、資料の作成を行っています。講義時には、講師として指導したり、職人の講師のときにはサポートをし、実作業時には研修職人と共に考え職人の作業をし、学び、歴史的な街並み維持に関わっています。



URL

QRコード

街プロ | <http://www.h-machi.com/>

